

GA

197

禁帯出

CHOR  
aus  
Judas Maccabäus  
(ORATORIUM)  
VON  
G.F. HÄNDEL

我等は戦場に趣かん

同聲(混聲)四部合唱曲

ヘンデル 原作  
若狭萬次郎 編曲  
犬童球溪 共譯  
若狭萬次郎

オラトリオ「ユダスマツカベウス」中の合唱曲

其二

No. 532.

解 説

○宗教音楽の大家ゲオルク フリードリッヒ ヘンデル (Georg Friedrich Händel 1685—1759) はバハとは僅かに四週間前の一六八五年二月二十三日と同じく獨逸のチューリンゲンに於て生れた。

かの有名なハレルヤの大合唱が其オラトリオ「メシアス(救世主)」中のものである事は云ふまでもない。

○ユダス マツカベウス は彼の數多きオラトリオの内、その最も光輝あるものであつて「メシアス」「エザブト」に於けるイスラエル「サウル」等と共に彼の傑作として樂界に珍重せられて居る。

○古代ユダヤ國民の愛國的情操、勇氣と戦場への憧憬、脱却と平和恢復後に於ける歌び、加ふるに此等を一貫する本曲特有の力強き男性的國民精神、これ等はすべて彼獨特の彩筆筆腕によつて遺憾なく詳細に描出せられて居る。

○歌詞はトーマス・モレルの作である。ヘンデルのオラトリオの大半は何れも彼れの作詩によつて作られてゐる。

○本曲は一七四六年中僅々數週間の期間内に於て他のオラトリオ曲と同時に作出せられたのであると云ふ。彼はこの兩作品を携へて後に彼の第二の郷國たるべき英國の樂壇に向て進出した。

○本曲は一七四七年四月一日、凱旋將軍ウィリアム公の歡迎の爲に初演せられて絶大の好評を博し、爾來英國樂壇に於ける人氣の作品として喧傳せらるるにいたつた。

◎本曲は後に「メシアス」に尋で遂に獨乙國內にも輸入せらるることとなり、自由戦後音楽祭の復活以後は殆んど恒久的に祭典用オラトリオとして採定せらるるにいたつた。本邦に於ては昭和四年十一月二十八日、東京音楽學校創立五十周年記念式典に際し同校管絃合唱團によつて初演せられた。

○オラトリオには神事劇、神劇歌、神譚曲等其他いろいろの譯語がある。構造は歌劇と同一なるも所作(動作)を用ひず、聖書中の詞を用ひて且叙事的であるのである。ヘンデルはそのオラトリオをバハの如く嚴格に寺院専用のもので限定せず、通俗的にも廣く演奏會用のものとして其構造をも收めしむるにいたつた。

◎本曲の略筋

ユダス マツカベウス はユダヤ民族中の一英雄の名である。紀元前百六十年の頃シリア王アンティオクス 猛威を振ひ、ユダヤ民族を虐き横暴壓制らざるものがなかつた。其時恰もユダヤ民族の統率者たるマタティアスは死し、爲にユダヤ民族は支離滅裂となり、滅亡の日も今や全く近からんとするにいたつた。於是、ユダヤの高僧等は相集りて「神の御告によつて彼等の新しき統率者を選定せんことを」を議定する。即、合唱の其一(原本の第七番合唱)は人民が神に向つてこの旨の祈願をなす件である。

神はその切なる祈願に愛でてマタティアスの子ユダス マツカベウス を統率者として定め給ふ。合唱の其二(原曲の第十番合唱)は人民等が悦んで此神命に従はん事を誓約するところである。斯くの如くにしてユダヤ國民はこの新しき勇士ユダス マツカベウス の統率の下に敵軍を破碎して國運の挽回に成功する。合唱の其三(原本の第五十六番合唱)は凱旋將軍ユダス マツカベウス の入市を迎ふる歡迎の歌であり、また其凱旋行進曲であるのである。本合唱曲は今や殆んど民謡的に且世界的に有名なのであるが、之は元來ヘンデルが此オラトリオの爲に作曲したのではなく「モシユア」中のものを愛に採擇したのであると云ふ。

因に。本物語は元來舊約聖書中のものであるが、一般の教會に於ては信徒に之を讀ましむることを禁するが故に普通の聖書中には此件が省略せられてある。

東京芸術大学附属図書館



18803348558



C

はいさ-み て す す まん  
 へルト いさ み へルト す す まん  
 Herd, o Herd, zur Schlacht des Herrn!  
 へルト いさ み へルト す す まん  
 Herd, o Herd, zur Schlacht des Herrn!  
 führ uns, Herd, zur Schlacht des Herrn!  
 勇 み いさ み へルト す す まん  
 へルト いさ み へルト す す まん  
 Herd, o Herd, zur Schlacht des Herrn!  
 へルト いさ み へルト す す まん  
 führ uns, Herd, zur Schlacht des Herrn!  
 勇 み いさ み へルト す す まん

D

Wohl-an, Wohl-an! Wohl-  
 いざ いざ い

Wohl-an, Wohl-an! Wohl-  
 いざ いざ い

E

an, wir fol-gen gern, wohl-an, wir fol-gen gern, wir fol-gen gern, wir fol-gen  
 ざ ゆうしよ とく みらびけ われ等を みちび

an, wir fol-gen gern, wohl-an, wir fol-gen gern, wir fol-gen gern, wir fol-gen  
 ざ ゆうしよ とく みらびけ われ等を みちび

F

führ uns, の 庭, に とく - 勇  
 へルト いさ の 庭, に とく - 勇  
 へルト いさ の 庭, に とく - 勇

führ uns, の 庭, に とく - 勇  
 へルト いさ の 庭, に とく - 勇  
 へルト いさ の 庭, に とく - 勇

み て す す まん G  
 Herd, — zur Schlacht des Herrn! führ uns o Herd, führ uns o  
 み て す す まん い ざ と く み ち び  
 Herd, — zur Schlacht des Herrn!  
 み て す す まん  
 Herd, — zur Schlacht des Herrn! führ uns o Herd, führ uns o  
 み て す す まん い ざ と く み ち び  
 Herd, — zur Schlacht des Herrn!  
 み — — — て す す まん G  
 Herd, — zur Schlacht des Herrn!  
 け — や ゆ — う し よ  
 Herd, — zur Schlacht des Herrn!  
 け — や ゆ — う し よ  
 Herd, — zur Schlacht des Herrn!  
 け — や ゆ — う し よ  
 (rit.) (急速-)

Gemischter Chor (混聲合唱)

Allegro. Sopran. Alt. f A  
 Wohl-an! wohl-an! wohl-  
 い ざ い ざ い  
 Tenor. Bass. f  
 An! wir fol-gen gern, wir fol-gen gern, wohl-an, wohl-an! wir fol-gen gern,  
 ざ われ等 は すすまん われ等を みちびけ  
 B  
 führ uns, o Herd, 我  
 p führ uns, führ uns, führ uns, 勇 士 の 後  
 とく とく とく 勇 士 の 後  
 C  
 等 は い さ — み て す す まん  
 に — 勇 み — — — て す — す ま ン  
 Herd, — o Herd, — zur Schlacht des Herrn!  
 い — — さ み — — — て zur Schlacht des Herrn!  
 führ uns, o Herd, — zur Schlacht des Herrn!  
 勇 み い さ み — — — て す す ま ン

